

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

祝 優勝!!

大宜味小学校ミニバスケットCチーム



2024年度 ろうきん杯Cチーム大会

9月7日（土）、名護市東江小学校で行われた第24回国頭地区ミニバスケットボール交歓会Cチーム大会2024年度ミニバスケットボールろうきん杯に大宜味小学校ミニバスケットボール女子CチームがGブロックに出場し、見事優勝を果たしました。

3年生以下のメンバーで構成されるCチーム。初心者から上級者まで登録されている10名全員が試合に参加し、対戦相手の東江小、東小に挑み、両試合とも逆転で勝利をおさめました。試合を終え、9月10日（火）、平良智校長先生にミニバスケットボール部全員で優勝報告をしました。

平良智校長先生は「毎日、監督と一生懸命練習した結果が出たと思う。みんなが目標にしている『話を聞こう』を、監督の話を聞いて仲間とともにチームプレーで頑張りたい」と激励。

報告を終え、3年生の神里梨帆さんは「優勝できて嬉しい」と笑顔、濱元千莉さんは「練習ではディフェンスができていなかったの、試合で頑張った」、平良瑛菜さんは「練習の時はシュートが入らなかったけれど、試合では入るよう頑張った」と試合中に心掛けたことを話してくれました。

放課後から。夏休み中も選手たちの指導にあたった監督の島袋幸俊さんは「小さい大会だが、子どもたちにとって大きなステップとなった」と喜びました。

めきめきと力をつけて結果を出すミニバスケットボールの選手たち。これからの活躍に期待します！

赴くまに筆を走らす… 令和6年度わんぱく体験団 第4弾

書道

9月21日（土）、旧大宜味小学校において令和6年度わんぱく体験団④「わんぱく書道」が行われました。

まだまだ暑いけれど季節はもう秋。と、いうことで、今回の活動ではわんぱくたちに芸術の秋に勤しんでもらいます。

「書道」と銘打ってはいるものの、字でも絵でも何を書いてもいい、何を使って書いてもいい、自分が書きたいものを書きたいように書く、何でもありのわんぱく書道スタートです。



「自由に書いて」、「好きにして」って意外と難しい。最初は戸惑うわんぱくたち。とりあえず、絵の具を混ぜて好きな色を作ろう！塗料ができたら次は書く道具を選ぼう♪筆やはけ、はたきにスポンジ、スプーンにフォーク、水鉄砲に水風船と書く道具はかなり揃えました。どんな風になるかは書いてみないとわからない。とりあえず、試してみよう。



若干の戸惑いはあったものの、徐々に自分のペースで進めていくわんぱくたち。何色も絵の具を混ぜて紙一面に色を塗る人もいれば、繊細な絵を描く人、道具を使って模様を作る人、色水の入った水風船を紙に投げつけて豪快に作品を作る人も…。手も足も絵の具やペンキだらけ、紙も新聞と一体になり、どこまでが作品かわからない。いいんです、たくさん汚れて、汚していいんです…。それが芸術。それが自由。



悩んだり、勢いで作ったり小さい作品から大きな作品まで様々。どれもわんぱくたちの個性が光る素晴らしい作品となりました。

できあがった作品は11月2日（金）～4日（日）に村農村環境改善センターで開催される第50回おおきみ展に出展します。

わんぱくたちの秀逸な作品の数々をぜひ見に来てください。



食べて、香って、心も体もで元気いっぱい！

大宜味小中学校でシークワサー給食



9月22日のシークワサーの日に合わせて9月17日の週、小中学校の給食にシークワサーを活用した献立が出されました。

使用したシークワサーは学校給食のために大宜味村シークワサー産地振興協議会から提供されたもの。

9月18日（水）、この日のメニューは沖縄焼きそば、グルクンのから揚げシークワサー添え、島野菜のスーナー（白和え）、お月見ゼリー、牛乳、グルクンにかけるとシークワサーだけでなくゼリーにもシークワサー果汁が入っています。

給食中に流してもらった動画ではシークワサーを食べると疲れた体を早く元気にしてくれる、シークワサーの香りを嗅ぐと心が元気になる効果があると紹介され、栄養士の上野聖子先生は「シークワサーの里である大宜味村の子どもたちにシークワサーの魅力を感じて欲しい。シークワサーにはそしてその魅力を他の地域の人たちにも伝えてほしい」と話しました。

グルクンのから揚げを食べた5年生の宮城莉杏奈さんは「そのまま食べても美味しい魚だけど、シークワサーをかけたらもっとおいしくなった」、安里篤樹さんは「かけた方が酸っぱくておいしい」、新垣温大さんは「シークワサーをかけておいしくなった」と喜びました。

みんなが搾ったシークワサーで教室は爽やかなシークワサーの香りに包まれました。

みんなで応援しよう！

令和6年度 **大宜味小学校・中学校運動会（合同開催）**のお知らせ

日時：令和6年10月19日（土） 8：30～ ※午前中開催

場所：大宜味小・中学校運動場 ※雨天時



児童・生徒が中心となって楽しい運動会を行います。
地域のみなさまのご来場をお待ちしております！



知ったこと、体験したことから交通安全について考える



9月27日（金）、大宜味小学校校長室において令和6年度交通安全作文コンクール表彰式が行われ、受賞した4名の児童に平良智校長先生から賞状と記念品を手渡されました。

ニュースで知った事故や自身の体験から「飲酒運転は許さない」、「命を守るため決まりを守りたい」、「みんなで交通ルールを守って楽しく暮らしたい」、「飲酒運転・交通事故ゼロの沖縄県になってほしい」という思いをまとめ綴られた4人の作文。

作文に現れたみんなの思いが実現するような世界になってほしいと思います。

受賞者は次の通りです。

- 名護警察署長賞 3年 平良日渉（かほ）さん
- 名護地区交通安全協会会長賞 1年 比嘉時野（もちの）さん
- 村交通安全推進協議会入賞 3年 濱元千莉（せんり）さん
- 村交通安全推進協議会入賞 2年 田仲京華（きょうか）さん

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第8回 教育委員会会議 令和6年8月29日（木）午後2時開催

《審議事項》

- 議案第18号 令和6年度大宜味村一般会計補正予算（教育費予算（第3号））について 《可決》
- 議案第19号 県費負担教職員の懲戒処分について（内申） 《可決》
- 議案第20号 令和7年度使用中学校教科用図書採択について（変更） 《可決》

図書室情報 No.62 2024年（令和6年）10月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157番地 0980-44-3009

新着図書

- 『私はチクワに殺されます』 五条紀夫 著 / 双葉社
- 『感動する地図帖 世界って面白い！となる100テーマ』
イアン・ライト 著 / 日経ナショナルジオグラフィック
- 『琉球 揺れる聖域』 安里英子 著 / 藤原書店
- 『おかあさんはね』 エイミー・クラウス・ローゼンタール 著 /
マイクロマガジン社 などなど

| 利用状況累計 | 9月の統計（9/24まで） |
|----------------|---------------|
| ○来室者数…のべ3,556人 | ○来室者数…のべ60人 |
| ○貸出冊数…5,998冊 | ○貸出冊数…84冊 |
| ○登録者数…181人 | 現在の蔵書数…7,735冊 |

10月図書室カレンダー 閉室日

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

～図書のリクエスト受付中～

※年度内お一人5冊まで本のリクエストができます！沖縄県立図書館の本を取り寄せるサービスも利用できますので、お気軽にお声掛けください！！

たくさんの大人に見つめられ…嬉し恥ずかし大宜味っ子 小中合同拡大授業参観



9月20日（金）、大宜味小・中学校において令和6年度第2回小・中合同拡大授業参観が行われました。

6年生は自分で作った創作の物語を発表。よく練りこまれたお話しに聞き手も魅了されました。3、4年生は運動会の練習。校歌ダンスや創作ダンスを体いっぱい動かして表現しました。

きらめき1組の教室では運動会のお知らせづくり。タブレット端末を使い、わかりやすく可愛いちらしを作り、家族への招待状も一生懸命書きました。

いつもとは違い、多くの人に見られての授業。児童たちはワクワク、ドキドキしながらも真剣に課題や作業に取り組みました。



中学校では2年生が総合の授業で11月に行く職場体験に向け、職場体験学習発表会（プレゼンテーション）を行いました。

自分が行きたい職場について施設の紹介の仕事内容について調べたり、体験してみたい理由、頑張りたいこと、心がけたいことなどをスライドにまとめ、そこに行きたい熱意をみんなに伝えました。また、友達の発表を聞き、スライドの構成や聞きやすさ（声、大きさ）、熱意について採点する審査もしました。

多目的教室では昨年より大宜味中学校の道徳授業でお世話になっている fufu-hug mato（ふふはぐまと）さんを講師に招き、小中学生とその保護者対象に「性の多様性について」というテーマで講演会（学校保健委員会主催）が行われました。アンケートからは「当事者の気持ちや困りごとを知れて良かった」、「『あなたはあなたでいい』と伝えたいと思った」などの意見があがり、性の多様性について親子でともに考えられるいい機会となりました。

天野鍛助日記ヲ読ム7

(160号つづき)

天野鍛助は1920（大正9）年、民選による初の大宜味村長として村政に携わり三期を務めた。在任中は沖縄初の鉄筋コンクリート庁舎建設、村営質屋の設置、郵便局設置、電話架設、村育英会設立などの事業のほか、産業振興の面にも力を入れ、鯉船組合設立、茶業、養蚕、製脳事業などの構築、林業施業案の策定など多分野に亘り尽力した。また、芭蕉布にも造詣が深く、村長辞任後は手ずから機を織り出来上がった反物は、本土の展示会で賞を受けたこともあるという。

そんな天野は、日記に芭蕉布に関する記述も多く、令和6年10月1日（火）から12月1日（日）まで沖縄県立博物館・美術館で開催される「芭蕉布展」において、芭蕉布の生い立ちを知る資料として「天野鍛助日記」も、立派なガラスのケースに収納され展示されることになった。

それにちなみ、今回は天野鍛助日記から、芭蕉布について記述している部分を拾って紹介する。

天野鍛助日記（芭蕉布関連の記述）

- 大正十一年五月二十四日 村会開催。退散後饒波ノ芭蕉布品評会ニ出席、左ノ講話ヲナス。
イ、芭蕉布ヲ産物タラシムルコト。
ロ、茶業 ハ、豚疫。
- 六月二三日 原山勝負差分式、砂糖、芭蕉布、中肥育施行、芭蕉布出品人ガ一人モ出ナカツタノヲ憤慨シタ。
- 昭和四年八月十日 那覇滞在。マーケットニテ副業品即売ヲナス売上良好。副展ヲ催スニ当リ数点ツヽ陳列シタ丈デハ人目ヲ惹カズ毫モ宣伝ニナラズ、宜シク即売宣伝ノ要ガアル、水産扱ト大宜味茶ガ今回ノ副展デハ有効ニ宣伝サレタノミ、大宜味ノ芭蕉布ハ声価ヲ墜シタノデ寧ロ出品セザルヲ賢カツタト思ハル、出品スル位ナラ周到ナル準備ヲナサネバナラヌ
- 九月七日 那覇滞在。前九時工業指導所ニ芭蕉布産地関係者集合、芭蕉座布団ノ販路ノ打合せアリ、芭蕉ニアラズヒリッピン麻ニ木綿糸ナレド芭蕉マガイトシテ産出スベシトノ議起リ議決ス尚ホ、芭蕉布、襖地等モ商工展ニ出品スベシト打合せ
- 昭和六年六月三〇日 原山勝負差分式、牛、芭蕉布品評会ヲ催ス
- 七月一日 芭蕉布品評会へ出席、代議員一同大莖種ノ植付ノ協議ヲナス
- 昭和九年六月二七日 宇ノ芭蕉布品評ニ出席ス
- 昭和二十一年一月十八日 喜味原ノ芭蕉畑ヲ打テ起シ種芋植付準備シ...



村史編さんだより

第162号 2024年10月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

身近に起こり得る自然災害

社会がどんなに進歩しても、地震、津波、台風、火山の噴火、豪雨など様々な災害が世界中で常時発生しています。近年は、“何十年に一度”とか、“これまでに経験したことがないような”等の表現が使われるような異常気象が発生しています。とてつもない自然の脅威に対して、私達ができることには限界があるかもしれませんが、先人が遺した史実から教訓を学び、被害を最小限に食い止める努力を怠ってはならない！…ということで、村内でこれまでに発生した自然災害の一部を抜粋し、一覧表にしました。

大宜味村は山がちな地形のため、土砂災害の記録が特に目に付きます。豪雨時に土砂災害が起きやすいという地域の特性を理解し、万が一災害に見舞われた場合でも冷静に行動できるよう、日頃から「知識をもってしっかり備える」ことが大切です。この大宜味村で未永く安全に暮らしていけるよう、歴史を共有し語り継いでほしいと願っています。

| | |
|--------------|---|
| 1725（享保10）年 | この年から翌年にかけて早魃で五穀実らず、大宜味郡内も蘇鉄（国頭郡奥邑の宮城・神里ら栽培）をもって救済される（大宜味村議会史） |
| 1826（文政9）年 | 台風大雨のため国頭地方の水田・旱田・貯蔵倉ほか猪棚一帯を流失。夏の天候不順に続く秋台風で大飢饉となり餓死者2,261人。救米と免責を薩摩へ願う（大宜味村議会史） |
| 1872（明治5）年以前 | 大波により平南村消失後に津波村に合併（津波誌） |
| 1951（昭和26）年 | マーヅ台風襲来、村内の被害甚大（大宜味村議会史） |
| 1954（昭和29）年 | 台風グレイス襲来、村内の被害甚大（住家の全半壊46戸、水稻50%、甘藷70%等）（大宜味村議会史） |
| 1955（昭和30）年 | 豪雨のため大保橋の3分の1が流失、護岸2カ所が決壊（琉球新報） |
| 1959（昭和34）年 | 台風18号シャーロット来襲、被害甚大（大宜味村史）死者38人、重症16人、埋没家屋26棟（※沖縄本島での死者は46人）（沖縄県災害誌） |
| 1960（昭和35）年 | ・チリ津波により宮城橋流失、津波校は1.5mほど浸水（津波誌）床下浸水87戸、田畑が浸水（沖縄県災害誌） ・台風のため大保橋が落下崩壊する（大保誌） |
| 1963（昭和38）年 | ・1月から3月にかけて月平均気温が12～15度という異常低温。このため霰、霜、霜柱、結氷などの異常現象が続く、水稻、甘藷、野菜類の全滅、防風林の立ち枯れなど農作物への被害も甚大（沖縄県災害誌） ・沖縄本島、周辺離島が75年振りの大早魃に見舞われ（5月～12月）、農作物の被害甚大（大宜味村議会史） |
| 1969（昭和44）年 | 5月から6月にかけて降り続いた梅雨の大雨により5月13日塩屋部落北方500mで山崩れ、一時交通が遮断される。6月5日に再び塩屋で土砂崩れ。5月～6月の合計雨量は田港で1,511mm、那覇の1,129mmは観測以来最高の雨量であった（沖縄県災害誌） |
| 1971（昭和46）年 | 戦前・戦後に類を見ない長期の早魃。農作物9割減、給水制限続く。生活用水、農業用水、種苗の確保など対策に追われる（沖縄県災害誌） |
| 2012（平成24）年 | ・相次いで襲来した台風15・16号により各地で道路の陥没や倒木、冠水などの被害、根路銘では大規模な山崩れで根路銘一上原線が欠壊（広報大宜味） ・平南川増水、上流のター滝で40人余が取り残されたが、全員無事に救助される（広報大宜味） |
| 2016（平成28）年 | 平南川で18人が大雨による増水で孤立、消防に救助される（広報大宜味） |
| 2017（平成29）年 | 平南川ター滝周辺において大雨による増水で33人が取り残され、消防に救助される（広報大宜味） |
| 2021（令和3）年 | 8月の小笠原諸島の海底火山噴火による軽石が大量に漂着、村内の漁港や海岸、河口を埋め尽くした |
| 2022（令和4）年 | 平南川ター滝で急な豪雨により短時間で水位が上昇、取り残された64人のうち1人が下流に流され死亡 |
| 2024（令和6）年 | 台湾付近を震源とする地震により、津波警報が発令される（正午には解除される） |

沖縄県立博物館・美術館「芭蕉布展」
令和6年10月1日（火）～12月1日（日）
3階博物館企画展示室、特別展示室1・2

関連イベント

- 10.12（土）学芸員講座「美しい布芭蕉布」
- 10.13（日）ワークショップ「芭蕉布を羽織ってみよう」
- 10.26（土）展示解説会・文化講座「喜如嘉の芭蕉布と無形文化財」
- 11.1（金）学芸員による展示解説会
- 11.9（土）学芸員講座「芭蕉とシマの生活誌」
- 11.10（日）ワークショップ「芭蕉から糸をつくろう」
- 11.16（土）文化講座「喜如嘉の芭蕉布」
- 11.17（日）上映会「芭蕉布を織る女たち 一連帯の手わざー」
- 11.30（土）琉球舞踊鑑賞会「芭蕉布衣装と琉球舞踊の競演」

問合せ：沖縄県立博物館・美術館 電話 098-941-8200



シャーロット台風 救助活動の様子 田嘉里



シャーロット台風の豪雨による 地滑り 大兼久



台風15号 根路銘一上原線崩落 2012年



大量の軽石が漂着 2021年

防災は
備えと意識と
助け合い



大宜味村防災減災ガイドBook 保存版
（令和6年1月作成 大宜味村役場）
※大宜味村公式HPからもダウンロードできます。



政信教育長のあじま～コラム

「言葉の力」と「口ぐせ」

先月のコラムでは「名言から学ぶ」ということで、「言葉の力」について書きました。特に偉人や有名人の残した、発した言葉は、生活していく上で多くの示唆を与えてくれます。私たちは言葉を介して人間関係を築いていますので、発する言葉には常に気をつけたいものです。自分がやっていることに、周りの人から何らかの声かけ等があると安心感や、やる気がでてきます。子どもに至ってはそれは顕著に表れます。子育ての基本は褒め、認めることです。ですから、私たち大人は些細なことでも、言葉にして子どもたちに返していくこと、認め、褒める声かけを、たくさんしていくことが大切だと思うわけです。

教育長に就任してから、毎朝、校長先生たちと共にあいさつ運動を実施しています。その中で子どもからのちょっとした声かけや、校長先生、時には保護者との何気ない会話からも一日の活力をもらっています。自分の短所や他人の欠点は見つけやすいと言われます。「できない」「できていない」ことを嘆くより「これができる」「これもできている」とよいところを見つけることが大切ではないかと思います。そして、それを言葉にして、返していくことが何よりも大切なことだと思います。いい言葉は、言われた人にも、使った人にも効果があることは、皆さんも経験を通して感じていることだと思います。いい言葉は自分で自分に与えることができます。いわゆる「口ぐせ」です。「私はできる」「なんとかなるさ」「なんくるないさ」「きっとやってみせる」などの言葉を、「口ぐせ」として使うのも安心感、やる気を高めること等につながると思います。「自分で自分を褒めてあげたい」と言ったマラソンランナー有森裕子さんのように、時には自分で自分を褒めてあげるのもいいのかもしれません。

今月の生きもの

ショウリョウバッタ：バッタ科



こんにちは。私、ショウリョウバッタです。
前翅と後肢を打ち合わせてキキキキと音を発するため、キキキキバッタとも呼ばれています。
って、私の姿、見えてます??写真の真ん中です。わかりますよね。今は幅の広い草の中にいるからわかるけれど、細長い葉の中にいたら、本当にどこにいるかわからなっちゃう。
かくれんぼ名人の私。草むらで私を見つけられるかしら。

1日（火）区長会

県立博物館芭蕉布展 ～ 12/1

5日（土）芭蕉布展コラボ 現地ツアー

9日（水）カジマヤー

12日（土）こども園運動会

13日（日）国頭郡陸上競技大会

10月の行事予定

14日（月）スポーツの日

19日（土）（小中）合同運動会

21日（月）小・中振替休日

24日（木）定例教育委員会会議

26日（土）わんぱく体験団⑤

27日（日）大宜味村ふれあい運動会

10月22日



パラシュートの日

夏は行事がいっぱいだったなと思っていましたが、秋も行事いっぱいです。運動会や陸上大会など過ごしやすくなるこの季節ならではのイベントが…。ただあくまでカレンダー上でのこと。まだまだ暑いし、まだまだ夏だし。ホントの秋が待ち遠しい